

平成30年度酒々井町教育委員会11月定例会議 議事録

開催日 平成30年11月30日(金)

開催場所 役場西庁舎2階第1会議室

出席委員	教 育 長	木村 俊幸	教育長職務代理者	石井 國治
	委 員	村重 浩二	委 員	林 洋子
	委 員	浦壁 京子		
出席職員	教 育 次 長	福田 良二		
	こども課長	七夕 夕美子	学校教育課長	玉井 清人
	生涯学習課長	鵜澤 勝己	中央公民館長	鈴木 潤一
	学校給食センター所長	増渕 和江	プリミエール酒々井館長	渡辺 幸夫
	こども課副主幹	伊藤 雄三	こども課主事(書記)	渡邊 しほ

1 開会時刻 14:04

2 議事録署名委員の指名

3 議 題

(1) 議 案 (非公開)

議案第1号 平成30年度12月補正予算(案)について

議案第2号 財産の取得について

(2) 報 告 (報告第1号は非公開)

報告第1号 青少年交流の家に係る提訴の経過について

報告第2号 行政報告について

4 次回会議の予定 12月21日(金)午後2時 西庁舎2階第1会議室

5 教育長・教育委員の予定

6 その他

7 閉会時刻 15:30

議 事 録

1 開会の言葉

木村教育長

ただ今より、平成30年度酒々井町教育委員会11月定例会議を開会いたします。

2 議事録署名委員の指名

木村教育長

続きまして、議事録署名委員の指名を行います。浦壁委員にお願いします。

3 議 題

木村教育長

これから議事に入ります。本日の議題は議案が2件、報告が2件です。

はじめに非公開とすべき議事についてお諮りします。議案第1号、議案第2号及び報告第1号は、町議会上程前の案件であることに鑑み、非公開にしたいと存じますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と声あり)

木村教育長

ご異議ありませんので、議案第1号、議案第2号及び報告第1号は、非公開にすることに決定しました。

それでははじめに、議案第1号「平成30年度12月補正予算(案)について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

非公開 平成30年度12月補正予算(案)について

木村教育長

次に、議案第2号「財産の取得について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

非公開 財産の取得について

木村教育長

以上で議案の審議を終わります。

続きまして、報告に入ります。

はじめに報告第1号「青少年交流の家に係る提訴の経過について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

非公開 青少年交流の家に係る提訴の経過について

木村教育長

続きまして、報告第2号「行政報告について」を議題とします。はじめに私からご報告いたします。

1点目は、10月28日から11月4日まで開催された町民文化祭についてです。出演や出展などの参加者数は1,080人で昨年より若干増えましたが、参観者は4,926人で少し減りました。閉会式は運営委員会の声かけもあり、昨年より増えましたが、やはりまだ少ないと思いました。

2点目は、東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーのルートに関する県への要望についてです。2日、北村八街市長・小坂町長らと県庁を訪れ、両市町を通るルートとすることなどを求める要望書を森田県知事宛に提出しました。県側は滝川副知事やオリパラ推進局長らが応対してくださいました。今回を含め、県内38市町村から同様の要望書が提出されたそうです。

3点目は町表彰式についてです。3日、議会議場で開催され、6名の方々が表彰されました。このうち教育委員会関係では、自治功労者として町文化財審議会委員であり千葉県伝統工芸指定鍛冶職人であります稲坂徳太郎様が受賞されました。また、スポーツ表彰として、この8月に開催されました全国高等学校総合体育大会体操競技女子団体で2連覇を果たした東京学館高等学校体操部、及び、同じく8月に開催されました全国小学生陸上競技交流大会の5年生男子100メートルで2位となりました酒々井小学校の前田拓輝君が受賞しました。

4点目は、佐倉市民音楽ホールで行われました一部会小中学校音楽発表会についてです。中学校は8日、吹奏楽の部に12校が、合唱の部に10校が参加、酒々井中は吹奏楽部と、1・2年生有志50名が合唱に参加しました。小学校は翌9日で、合奏、合唱のいずれか一方という参加制約があり、合奏の部が12校、合唱の部も12校の参加でした。酒々井小も大室台小も合奏でした。この音楽発表会はコンクールではありませんが、郡発表会出場の選考を兼ねるということになっておりまして、酒々井中吹奏楽部と酒々井小音楽部が選出されました。

5点目、北総教育事務所所長訪問、次長訪問についてです。これは当教育委員会の要請に基づいてご訪問いただくもので、所長以下担当所員の先生方に学校経営、学校運営、授業等の学校教育活動を直接見てもらってご指導を受けました。13日に次長訪問を大室台小で、14日に所長訪問を酒々井小で実施しました。ご指導を

基に、学校には一層適切適正な管理運営に努められることを期待するとともに、教育委員会としても町の教育のさらなる充実を図って参りたいと考えております。

6点目は、中高連携あいさつ運動についてです。19日はJR酒々井駅で、20日は京成酒々井駅で、東京学館高校は生徒会役員の参加で、役員改正が終わっていないということでまだ3年生も入っているようですが、酒々井中は生徒会役員と1・2年生の各学級の評議員が参加して行われました。朝7時30分からの短い時間でしたが、生徒達は恥ずかしがらずに、堂々と挨拶を発しておりました。

7点目、19日酒々井中生徒と町長との懇談会についてです。中学生との懇談は久しぶりの開催で、この日ははじめに1年生の授業を参観しました。参観する中で、大型テレビや照明など教育環境の状況を理解していただきました。懇談会は、生徒会の前会長・前副会長だった3年生2人と、1・2年生の現役員6名の、合計8名と行いました。時間がないため給食を食べながらでしたが、全員が積極的で、質問や要望がたくさん出されました。

最後に、22日に行われた戦没者追悼式について申し上げます。追悼式は近年、3年に一度の開催となっております。前回のご遺族関係者は20人足らずの出席でしたが、今回はおよそその2倍の方々が出席されておりました。さて、私は追悼式に臨み、特に、先の大戦で祖国や家族のために戦地に赴き、ふるさとを想い、家族を案じながら、ふるさと酒々井町に戻ることなく戦禍に倒れられた方々のご無念に思いをいたし、心から哀悼の意を表した次第でございます。そして、今日の我が国の平和と繁栄が、戦争で亡くなられた方々の尊い犠牲の上に築かれたものであることを、あらためて心に銘記しました。酒々井町は平成元年に「平和宣言都市」として新たに歩み出しておりますが、戦争の体験と記憶の風化が危惧されている今、あらためて、戦争の悲惨さと平和の尊さを深く心に刻み、次の世代に継承していく責務を果たすことに努めなければと思っております。

私からの報告は以上でございます。6ページにお示ししてありますように、大変たくさんの行事に出席いたしておりますが、時間の関係で報告を省略させていただきます。

では、教育委員の皆様から順次ご発言いただきたいと思っております。

村重委員

はい、議長

木村教育長

村重委員

村重委員

私は10月26日金曜日に行われた、酒々井中学校訪問について報告いたします。

5校時の授業と施設見学と放課後の部活動を見させていただきました。授業は5校時のみのため駆け足の拝見となつてしまい、全クラスを見ることはできませんでした。この日は授業参観の保護者の方々と一緒に見学したため、子ども達もちよつと緊張したように見受けられました。先生方は授業に使う副教材や黒板に貼る説明資料・モニターに映し出す説明資料等、準備が大変だったのだろうと想像できました。そこから、生徒たちに対する先生方の熱意を感じました。準備ありがとうございました。

いました。生徒たちは、準備していただいた副教材や黒板に貼る説明資料等により、先生の講義を真剣に聞き勉強しておりました。今後も生徒たちの興味を引く色使いや文字の大きさ、矢印等を工夫し、わかりやすい授業を続けていただきたいと思います。

授業の合間に多目的室を拝見させていただきました。以前、屋根からの漏水があったようで、天井と床にしみが見受けられ、カーペットもあちらこちらに破れがあり、カビ臭さを感じました。適切な環境になるよう、修繕していただき、良いスペースなので多目的に使用していただきたいと思います。

とあるクラスの黒板に目標「授業参観があるので、しっかり授業に取組もう!!」とありました。5校時16クラスを見た全体の印象はしっかり授業に取組んでいます。

5校時の後、柔剣道場を拝見させていただきました。本校舎に比べ、新しい割には天井に漏水の跡が見受けられ、天井ボードが剥落しておりました。バルコニーに面したアルミサッシのクレセントの部分が数か所破損しておりました。防犯上も好ましくないなので、こちらも早めの修繕をお願いしたいと思います。その後、部活動を拝見させていただきました。驚いたのは、器楽部とテニス部の人数の多さです。器楽部は1・2年生だけで43名ほどいるそうです。私は以前、酒々井中の1年生のときにブラスバンド部という名称でしたが、3年生を含め20人程度しかいませんでした。楽器の種類も少なく、男子部員は5名しかいなく、当時の生徒数から比較すると今の人数は人気があるのがわかりました。当時の倍以上の楽器の種類があり、年に数回聞かせていただく演奏は深みがあります。私は2年生からテニス部に移籍したのですが、当時もそこそこ人気がありましたが、今もとても人気があるようです。こちらも当時の生徒数から比較すると今の人数は人気があるのがわかりました。私が中学の時に人気のなかった美術部ですが、今は30名以上いるようです。人数の少なさで驚いたのが、男子サッカー部と女子バレー部です。私が中学の時はどちらも人気があり、レギュラーになれない部員が多数いた印象がありますが、今は部活中に練習試合ができない人数でした。寂しさを覚えました。この先、生徒数が減少していくと、部活動によっては廃部になってしまうのではと心配をしています。子ども達にやりたいことをやらせたいという思いはありますが、いつかは、「定員」という考え方で人数の偏りを見直す時期が来るのではと思います。

最後に、私が中学の時に比べ、部活動の道具がとても充実しています。この場を借りて酒々井中の生徒たちに「がんばれ」とエールを送ります。以上です。

林委員

はい、議長

木村教育長

林委員

林委員

10月30日大室台小学校で行われた、人権・同和教育推進校の公開研究会に教育長と委員全員で訪問し、参観させていただきました。

「相手の思いやりを知り、感じることによって、ひととのかかわりを深めること

ができる児童の育成」を研究主題とし、体験する・感じる・話し合うという実践に繋がる具体的なサブテーマを掲げ、すべての教育活動の中で推進され、生き生きとした子ども達の姿を見せていただきました。

大室台小タイムでは、1年生から6年生までで構成された異年齢集団「なかよし班」を作り、楽しく活動されていました。高学年が低学年を見守るようなまなざし、低学年が高学年へありがとうという気持ちの笑顔がそこかしこに見られました。

また、なかよし集会では、体育館に一堂に会し、今までの活動の様子をスライドで発表してくれました。どの子も笑顔いっぱい輝いた活動ぶりが伝わってきました。

最後に、講話がありました、学校人権教育を単的に3つにまとめ話されました。「1. きれいな自分を好きになる」「2. 好きな瞬間を積み上げる」「3. 小さな感動を積み上げ、大きな感動にする」、大室台小学校では、着実に積み上げられてきていると思いました。

校長先生のあいさつの中の、「ありがとうは魔法のことばだと思っています」という言葉がとても印象に残りました。以上です。

石井教育長職務代理者

はい、議長

木村教育長

石井教育長職務代理者

石井教育長職務代理者

11月9日、平成30年度印旛地区教育委員会連絡協議会研修視察として、印西市の順天堂大学さくらキャンパスと富里市の旧岩崎家末広別邸に行き参りました。

さくらキャンパスは、習志野のキャンパスの老朽化と学科、クラブの多様性に対するために、1988年印旛村、現在の印西市に移転されたとのこと。

1838年に日本最古の西洋医学塾として創立された順天堂、180年間健康総合大学として発展、多くの指導者の育成、また、オリンピック、パラリンピック、インカレの活躍等目を見張るものがあります。最近では、全日本体操競技団体選手権大会で順大男子チームが見事優勝を成し遂げました。ますます順天堂大学の名声を高めていると思います。実績を物語るようにショーケース内にたくさんのトロフィーが展示されていました。広く素晴らしいグラウンドや館内の諸施設を見学しました。名選手を出している広い体育館には、つり輪、平行棒などたくさんの練習器具がありました。館内は4人の選手が練習をしており、1人の選手が目の前で見事な平行棒の演技を披露、見学していた私たちから大きな拍手が起こりました。運動部門だけでなく、今回の研修で担当教授より「スポーツ健康科学部の教員養成について」の説明報告があり、教員指導育成にも力を入れているようです。

来年、新年早々箱根駅伝が開催されます、競技2日間好成绩を期待したいと思います。順天堂大学と酒々井町がこれからもますます強い絆を持って進んでいくことと思います。私の家の周りの空き地に次々とアパートが建築され、順大の生徒が主として居住されているようです。卒業してからも酒々井町の良さを知り、永住して

くれればと思います。

昼食後、富里市に所在した旧岩崎家末広別邸を視察研修しました。岩崎別邸は、三菱財閥第三代総師の岩崎久彌氏が農場経営のために建てた、主屋、東屋、石蔵、と近代和風の農場別荘で昭和初期の上流階級の別邸として貴重な遺構として高い歴史価値を持っており、三棟が平成25年に国の登録有形文化財となっています。平屋150坪の主屋はモダンな建具意匠、暖房器具など最新の住宅設備、建築直前に発生した関東大震災の教訓を活かした耐震構造など、近代和風住宅の好例と言えます。また、東屋はガラス障子で外の眺望を確保し、洋式家具をしつらえ、お茶屋風の雰囲気があります。主屋とは違い野趣に富んだ材料で構成、園庭と一体となった佇まいとなっております。富里市は末広別邸、農場跡地を観光拠点の核とし、富里市のシンボルを目指しているとのこと。

今回の視察研修で初めて岩崎邸を訪問できましたが、現在、見直し改修が予定されているため施設非公開とのこと、特に文化財の石蔵の壊れかたが酷く、早めの修復が必要と思いました。改修後は改めて公開イベントを企画されるようですが、再度訪問したいと思いました。以上で報告を終わります。

村重委員

はい、議長

木村教育長

村重委員

村重委員

11月15日（木）に千葉縣市町村教育委員会連絡協議会の研修会に教育長と委員4名で参加させていただきました。

午前中のパネルディスカッションは、「新教育課程実施上の課題及びその解決に向けた教員の資質・能力の向上について」でした。

午後は、第一、第二、第三分科会に分かれ、教育長と石井職務代理者と私は第一分科会に出席しました。テーマが「教育の情報化推進の取組について」でした。前半が県教育庁の施策の説明で、後半は、鴨川市教育委員会と柏市教育委員会の取組事例の発表を視聴しました。この第一分科会について報告させていただきます。分科会のときに配られた資料によると、市町村別に各種ICTの整備状況の指標が記載されていました。パソコン1台あたりの児童生徒数は全国平均は1台あたり5.6人、酒々井町はほぼ平均並みでした。現状で問題ないと思います。

次に、普通教室の電子黒板の整備状況ですが、全国平均26.8%に対し、千葉県は18.7%と低く、酒々井町の整備状況は県平均以下です。慌てて全教室に整備すべきかという、私の個人的な意見ですが、その必要はないと思います。

次に、普通教室の無線LAN整備状況ですが、全国平均34.5%に対し、千葉県平均は52.9%と高く、酒々井町と栄町は寂しい数字ですが0%です。これも慌てて全教室に整備すべきかという、私の個人的な意見なのですが、今あるパソコンの更新時期にデスクトップ型ではなく、タブレットにもなるノート型パソコンにし、そのタイミングで整備をすれば良いと思います。

最後に、統合型校務支援システムの整備の状況です。全国平均52.5%に対し、

千葉県平均は79.5%と高く、残念ながら酒々井町と栄町は0%です。この千葉県の79.5%という数字は全国5位だそうです。千葉県全体の約8割の学校が運用している状況を見ると、これは急いで整備するべきかと思います。

近年叫ばれている教員の働き方改革に欠かせないアイテムになりつつあります。先日の印教連懇親会の際に富里市教育委員会の事務の方と校務支援システムの件で意見交換をしたときに、「印教連全体で同一のシステムを組めれば理想ですね」と意見が一致しました。エアコン整備は他市町村に先駆けて整備しましたが、ICTの分野に限っては遅れをとっている状況がわかりました。

以上を持ちまして、千葉縣市町村教育委員会連絡協議会の研修会第一分科会の報告とさせていただきます。

浦壁委員

はい、議長

木村教育長

浦壁委員

浦壁委員

同じくこの研修会の第三分科会に林委員と臨んでまいりましたので、ご報告いたします。この分科会のテーマは「通常学級における子ども達の発達支援に向けた取り組みについて」でした。はじめに特別支援教育の理念と現状について、県の特別支援教育指導主幹から説明がありました。内容は文科省からの通達を受けて「千葉県では特別支援教育の目指す方向についてこういうことですよ」とお話があり、まず、障害がある児童生徒が自立をする。そして、社会参加をする。社会参加できるようにその可能性を伸ばしていくこと。社会の一員として積極的に活動をして、やはり豊かに生きるということ。一方、障害のない児童生徒が障害者理解を深めて、共に社会を造るための基礎を培うという教育を目指すということで、「これは3本の柱ですよ」とお話をいただきました。この中で今回のテーマ「通常学級における子ども達の発達支援」は、まず、早くからの支援が必要である。そして、いろいろ学びを支援として与えてほしい。いつでも、どこでも、誰にでも、必要な支援をしていくという考えが大切だとアピールされておりました。すべての学校で実施されるのですということで、学校訪問の時の様子を思い出しました。いくつかデータを示していただきまして、平成24年の文科省の調査では通常学級在籍の6.5%に発達障害の可能性のある子どもがいる。40人学級だとすると2、3人はいますということでした。これらから、それだけいる子ども達を通級の指導として障害に応じた指導を校内、あるいは、他の学校で受けるようにということができるようになったということでした。酒々井町も手厚く実施しているなど感じています。実際、昨年度の千葉県のデータでは、このように5,411名が通級の指導を受けているということでした。いわゆる取り出しの指導だと思いますが、その7割が言語障害でした。そこに続いて学習障害LD、注意欠陥多動障害のADHD、情緒障害などと続いています。就学支援委員会のお仕事をしている時に「ことばの教室」ということが本当に多いなと考えていたのですが、これは、全国的な傾向なんだなと改めて理解しました。これらのお話のあとに2校から実践発表がありまして、富里から

は、特別支援教育巡回事業としての特別支援アクターとして報告がありました。特別支援のアドバイザー、臨床発達心理士、富里特別支援教員をメンバーとして、年に2回各学校の訪問をしている。そして、また、それだけではなくて必要に応じて要請に基づく訪問をしているということでした。その際、個人のライフサポートファイルが大変役立っているということで、その紹介がございました。その子が困っている感じ、それから、解決した、どんな手法をしたら良くなったよ、というようなすごく細かいデータを持って歩いて共通の理解をしているということでした。もう一点、茂原市からは、小学校の校長先生からの校長室だよりを中心とした発表がありました。職員の児童に対する言葉がけということにポイントを置いて、教員全体の底上げを図るという手法で、こういうこともあるのだなということ、お話を伺わせていただきました。2校とも特別支援に関する専門的研修に力を入れていて、改めてこのテーマは大切だなと感じています。酒々井町は歴史的にも人権・同和に関する様々な事業がありまして、学校も色々な形で取り組んでいますけども、枠を超えてこれから先、学校だけではおさまらない、社会と繋がる何かが必要になるのではないかなと改めて考えているところです。ありがとうございました。

林委員

はい、議長

木村教育長

林委員

林委員

就学支援委員会の報告をします。就学支援を必要とされる児童・生徒が適切な教育が行われるように就学支援委員会が3回行われました。

社会の変化と共に家庭や家族構成が多様化され、子どもを取り巻く環境が変わってきています。そんな中、様々な障害をかかえて生活している子ども達のニーズにあった就学先を審議する委員会です。本人や保護者のニーズに対して学校教育、医学、心理学等の視点から本人の自立、社会参加に向けて話し合いました。

1回目は、現在、通常学級に在籍し、新たに特別支援を必要とする児童について、また、言語の通級指導の新規及び終了児童について、そして、小学校特別支援学級を卒業予定児童の卒業後の就学先について、の審議を行いました。

2回目は、平成31年度の新生児について、10月に就学時の健康診断が行われました。その結果、特別に支援を必要とされるお子様と保護者と細やかな面談をした結果を基に審議しました。

3回目は、31年度の言語通級に係る児童についての話し合いをしました。そこで、1回目、2回目の継続審議となった件についても話し合いを行いました。

以上3回、3日間にわたり審議しました。

小中学校においては、一人ひとりの子どもの障害に応じた手厚い支援がなされており、言語の通級の中で子ども達が吃音だとか様々な口の中の障害を持っているお子さん達でも小さい時から指導を受けることによって、正常に話ができる子ども達が修了となります。早い指導は大切なんだなということも感じております。

また、酒々井町ならではの職員が配置され、子ども達が成長されている様子が先

生方の報告から伝わってまいりました。

今後、さらに障害の状態を見極め、家庭との連携を密にして子どもの成長を見守りたいと思いました。以上です。

木村教育長

ありがとうございました。

以上で、教育委員のご報告を終わりにいたします。

続きまして、事務局から報告いたします。

福田教育次長

はい、議長

木村教育長

教育次長

福田教育次長

(報告)

七夕こども課長

はい、議長

木村教育長

こども課長

七夕こども課長

(報告)

玉井学校教育課長

はい、議長

木村教育長

学校教育課長

玉井学校教育課長

(報告)

鵜澤生涯学習課長

はい、議長

木村教育長

生涯学習課長

鵜澤生涯学習課長

(報告)

鈴木中央公民館長

はい、議長

木村教育長

中央公民館長

鈴木中央公民館長

(報告)

増渕学校給食センター所長

はい、議長

木村教育長

学校給食センター所長
増渕学校給食センター所長

(報 告)

渡辺プリミエール酒々井館長

はい、議長

木村教育長

プリミエール酒々井館長

渡辺プリミエール酒々井館長

(報 告)

木村教育長

事務局からの報告が終わりました。これより質疑に入ります。

ご意見ご質問ございましたらお願いします。

私から生涯学習課の11月11日の順天堂大学公開講座体操競技とあるけれども、講座の対象者を教えてください。

鵜澤生涯学習課長

はい、議長

木村教育長

生涯学習課長

鵜澤生涯学習課長

小学生のお子さんとその保護者になります。ペアで参加していただくものがございます。酒々井町からは9組、親子で22人ということでした。一人の親御さんで2人連れてくる方もいらっしゃいましたので、そのような数字になっております。

木村教育長

他にご意見ご質問ございませんか。

ご意見ご質問等ないようでございますので、以上で「報告第2号」を終わります。

以上をもちまして、議題については、すべて終了しました。

4 次回会議の予定

続きまして次回会議の予定について事務局より説明願います。

七夕こども課長

はい、議長

木村教育長

こども課長

七夕こども課長

次回会議の予定ですが、平成30年12月21日（金）14時から役場西庁舎2階第1会議室で予定させていただいております。

併せまして1月の予定ですが、1月22日（火）9時から役場西庁舎2階第1会議室で予定させていただいております。

木村教育長

次回会議は、12月21日（金）14時から、1月は1月22日（火）9時から実施するということですがいかがでしょうか。

（全員了承）

木村教育長

それでは、そのようにご予定願います。

以上で、次回会議の予定を終わります。

5 教育長・教育委員の予定

木村教育長

続きまして、教育長・教育委員の予定をお願いします。

七夕こども課長

はい、議長

木村教育長

こども課長

七夕こども課長

（報告）

木村教育長

それでは、お聞きのとおりご予定願います。

以上で、教育長・教育委員の予定を終わります。

6 その他

木村教育長

続きまして、その他はございませんか。

（その他なし）

木村教育長

事務局からはないようでございますので、委員の皆さんからその他はございませんか。

浦壁委員

はい、議長

木村教育長

浦壁委員

浦壁委員

通学路の点検を夏休みにやっていただきました。小川ピーナッツさんからアウトレットに直角で回れるように整備されていると思いますが、どこまできれいになるのかなと思っていましたら、途中までであとは今までと同じでした。やはり、通学路とするとこれは怖いなと思いました。運転する方も怖いですし、自転車で通る子ども達も怖い思いしているだろうなと気になっています。今の工事を踏まえてこれから先あの道はどうなるのかわかっていればということと、事故対策もわかる範囲で

教えてください。
玉井学校教育課長
はい、議長
木村教育長
学校教育課長
玉井学校教育課長

道が整備されたあとの状況については、まだ未確定な部分があるので、私たちも十分把握できていない状況です。道が変更されたことによって、特に自転車通学の子ども達の安全については、学校を通して重々指導するようにとというのはお願いしております。また変更があり次第、状況を見ながら安全対策については考えていきたいと思っております。

浦壁委員

ガードレールが両方ないのですね。なので、どちらか片方でも付いていると違うだろうなと思いつつも、道が狭くなってしまふなと通りながら感じています。事故があつてからでは遅いので、安全対策をよろしくお願いします。

木村教育長

現場を確認しながら、担当課に要請を出すようなことをご検討いただければと思います。

他にはございませんか。

ないようですので、以上でその他を終わります。

7 閉 会

木村教育長

以上で、本日次第に掲げました案件はすべて終了しました。以上をもちまして平成30年度酒々井町教育委員会11月定例会議を終了いたします。(15:30)

議事録署名 教育長

委 員

議事録作成職員
こ ど も 課